

「和」の美意識と
先進機能を纏う邸、
駅前エリアに誕生。

駅4分×全戸南向き×公園目の前



2 駅 **5** 路線利用可

小田急江ノ島線・相模鉄道本線（東急東横線・目黒線/JR直結線）

「大和」駅直結施設から徒歩

4 分

Special Interview Content
スペシャルインタビューコンテンツ

住まいのアドバイザーが紐解く
〜ワザック大和中央の魅力とは〜



住まいアドバイザー 井上 真樹

(株)リクルートより独立後、約20年、住宅情報誌で記事を制作。現在は、住まいと街をテーマに執筆を続ける。
TVのモデルハウス紹介企画にも出演。

1

老舗の注文住宅メーカーが「技と匠」の
粋を集めて創る「ワザック」。
その思想を紐解く

2

今、求められる快適性をかなえる全戸南
向き・角住戸率50%。高品質な仕様も高
評価

3

東京23区からの転入が大きく増加した大
和市。都心への交通利便性向上も要因に

1. 老舗の注文住宅メーカーが「技と匠」の粋を集めて創る「ワザック」。その思想を紐解く

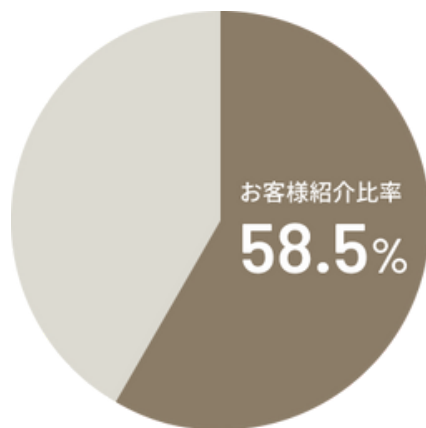
お客様紹介比率58.5%という数字が証明する信頼感。その信頼に応えるマンションを開発

日本ハウスホールディングスは、半世紀以上の歴史を持つ老舗注文住宅メーカーです。

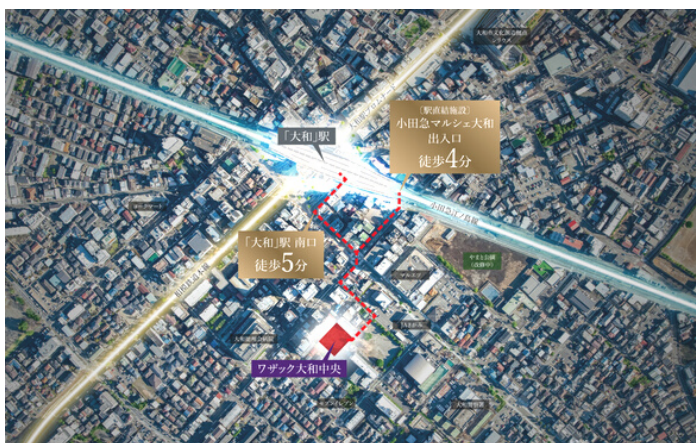
「檜品質」「ゼロエネ品質」「快適品質」という3つの品質を軸に、環境にやさしい、脱炭素社会の家づくりに取り組み、全国で10万戸超を販売。お客様の紹介による成約が58.5%(※1)という数字が同社の家づくりへの満足感、信頼感を物語ります。



創業54年の歴史
全国販売数 107,549戸の実績



ワザックは、同社の「技と匠」の粋を集めたマンションブランド。立地を「品質」として選び抜くワザックが、今回、選んだのは「大和」駅直結施設より徒歩4分(※2)ながら、公園を目前にする静穏な地。檜を用いたエントランスホールが象徴する「和」の美意識と先進機能を搭載したサスティナブル・レジデンスが誕生します。

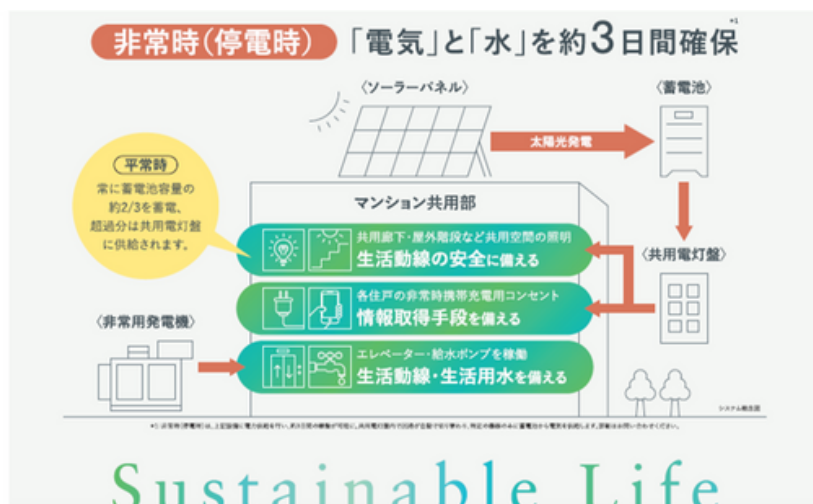
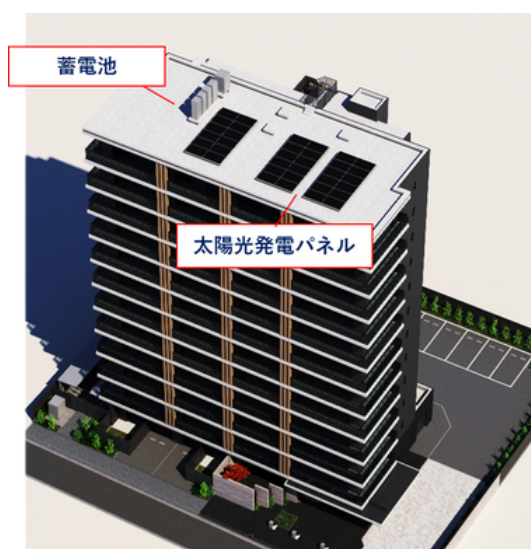


災害時に備える先進機能を搭載。製販管一貫体制を活かした充実のアフターサービスも

住まいの機能として、最も重視されるべきは「安心・安全」です。特に自然災害が頻発・激甚化する近年、災害時の安全はもとより災害発生後も生活が守れるレジリエンス性(強靱性、回復力)が注目されるようになりました。

〈ワザック大和中央〉では、屋上に太陽光パネルと蓄電池を設置。平常時は共用部の照明などに活かされ、環境負荷を低減、ランニングコストを抑える役割も果たします。災害時や停電時には、共用部の一部照明および全戸に設置された非常時携帯充電用コンセントに電力を供給。蓄電池に貯められた電力と太陽光パネルによる創電により通信途絶を防ぎます。重ねて、エレベーターや給水ポンプを数時間稼働させることができる非常用電源装置も装備。水や食料を備蓄しておけば、在宅避難も可能でしょう。加えて、大和市は、市制施行60年間、自然災害による死者はゼロ(※3)。災害に強い街という点でも安心です。

脱炭素社会を実現する住まいで、豊かな未来を見据えた暮らしへ。



EV コンセント

専用駐車場付きタイプ (A1g・B1g タイプ) のテラスには EV 充電ができる EV コンセントを採用。100V 充電に対し、およそ半分以下の時間で給電が可能です。200V の設定に。国産車から海外メーカー車まで幅広い車種に対応可能です。



ソーラーパネル

屋上には、ソーラーパネルと蓄電池を設置。太陽光発電の電気は、蓄電池に蓄電されたり、共用部の照明などに活かされます。また、災害時には共用部の照明やスマートフォンの充電などにも使用されるので安心です。



蓄電池

ソーラーパネルとセットで設置される蓄電池は、発電した電力を一定量蓄電池に貯めておき、停電時や災害時などに共用部の一部照明や携帯電話の充電などにも役立つ設備です。



参考写真

非常用電源装置

地震などの災害によって万一停電しても、非常用発電機から電力を供給することで、エレベーター及び水道の給水ポンプを数時間稼働させることができます。“いざ”という時の安心のために、非常時にしっかり備える防災対策をしています。

2. 今、求められる快適性をかなえる全戸南向き・角住戸率50%。高品質な仕様も高評価



[LDK] ※モデルルームDタイプ

設計の工夫により一層の広さを感じる空間に

テレワークに伴う在宅時間の増加を受け、住まいの快適性がより求められるようになりました。本物件は全戸南向き・角住戸率50%。敷地南側に公道があり、南東側に公園が広がるなど、採光性、通風性、開放感に恵まれます。プランは55㎡台2LDK～70㎡台3LDK。アウトフレーム設計により柱や梁の凹凸を抑えたリビング・ダイニングの天井高は約2.5M(1階は約2.95M、最上階は約2.55M)。立体的にも視覚的にも広がりのある空間が描かれます。



[LDK] ※モデルルームDタイプ

採光性・通風性・可変性に優れた角住戸

Dタイプは、水回りにも開口を設けた風通しのよい角住戸。ワイドリビングの南面開口にはセンターオープンサッシを採用。開放すると、バルコニーとの連続性が生まれ、一層の開放感が楽しめます。奥行き約1.95Mのバルコニーはアウトドアリビングやテレワークスペースとしても活躍しそうです。また、リビング・ダイニングと洋室(3)の間にはウォールドアを採用。生活シーンや子どもの成長に合わせ、空間がアレンジできます。

カラーセレクト

新築ならではのカスタムとして、「珠錆」「琥珀」「真珠」と3つのカラーセレクトが無償で可能です。(建築スケジュールによる)



ハーフモデルで確認したい上質の仕様・設備

素材へのこだわりと仕立ての美しさは、日本ハウスホールディングスの真骨頂と言えます。ダイニングの壁には檜のデザインウォールが施され、芳しい香りに癒されます。床には、表面に天然木突板を施したフローリング材を採用。豊かな木目の表情、自然の風合いが楽しめます。収納扉を含めたすべての建具には、日本の伝統色でいうところの錆(さび)色のシートが施され、そのレトロな味わいが住まいの美しいアクセントになっています。



[玄関] ※モデルルームDタイプ



[檜のデザインウォール] ※モデルルームDタイプ



[キッチン] ※モデルルームDタイプ

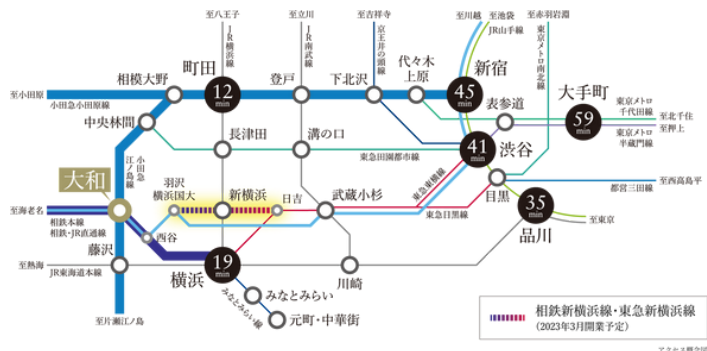
3. 東京23区からの転入が大きく増加した大和市。都心への交通利便性向上も要因に

相鉄・東急直通線開業で7社14路線に接続。新宿に加え、渋谷・大手町も直通に(予定)



大和市では、2019年→2021年で東京23区からの転入者数が26.6%増加。神奈川県内で茅ヶ崎市、藤沢市、鎌倉市に次ぐ増加率となりました(※4)。コロナ禍を機にするテレワークの普及を受け、都心に比べ住居費が抑えられ、自然豊かな近郊の街への移住が進んでいます。加えて、「大和」駅については、2019年に相鉄・JR直通線が開業。

2023年3月には、相鉄・東急直通線が開業予定。小田急江ノ島線を併せ、7社14路線とつながり、「新宿」に加え「渋谷」「池袋」「大手町(予定)」へのダイレクトアクセスがかなうようになります。新幹線が使える「新横浜」駅へも直通約19分に(予定※5)。交通利便性の飛躍的な向上も、都心からの移住を後押ししています。



文化施設・子育て支援施設に次いで、公園もオープン予定。駅近立地ながら穏やかな一角



文化創造拠点シリウス

大和駅周辺では、2016年に再開発が完了。歩行者専用のプロムナードや文化創造拠点「シリウス」が整備されました。図書館、芸術文化ホール、屋内こども広場、生涯学習センターからなる「シリウス」は、わずか3年と80日で累計来館者数1000万人に達する人気施設に(※6)。新たな賑わいを生んでいます。現地近隣でも、2021年4月に子育て支援施設を擁する「こどもの城」がオープン。2023年2月には芝生広場や休憩施設を擁する「やまと公園」がリニューアルオープン(予定)。街の魅力向上が図られています。



やまと公園(改修中)

令和5年2月オープン予定



※イラストはイメージであり、今後変更となる場合があります。



小田急マルシェ大和

現地は「大和」駅に直結する「小田急マルシェ大和」出入口よりフラットアプローチを徒歩4分。北口改札前の「ODAKYU OX 大和店」、徒歩3分の「マルエツ」など、商業施設も充実。日常の買い物は徒歩5分圏でカバーできます。

利便性に恵まれる一方、建設地が位置する駅の南西側一帯は警察署や税務署が立地する落ち着いた住宅街。現地斜め前には「中央1号公園」が広がります。子どもたちがいつでも駆け回って遊べる環境が駅徒歩5分圏で得られるのは貴重です。20の診療科を擁し、救急対応もある「大和徳洲会病院」も徒歩3分に。年齢を重ねても安心して暮らせる環境が整っています。